「ジオAI研究会」の開催について

国土交通省

○ **スマートシティや不動産、防災・減災やインフラ管理、ロボティクスや自動運転など、多様な分野のDXを支える地理空間情報**の活用が広がる中、急速に進展する**AIの技術と融合（地理空間情報×AI）**することで、我が国経済・社会における**地理的・空間的問題の解決が一層図られるとの期待**が寄せられている。

○ これを踏まえ、「**ジオAI研究会**」では、**ジオAI（地理空間情報×AI）に関する産学官の取組を戦略的に加速**するため、その**実現に向けた「課題・論点」や「取組の方向性」について議論**を行う。

委員等

【委員】 ◎：座長　　（五十音順、敬称略）

	井上　陽介	G空間情報センターセンター長／PwCコンサルティング合同会社ディレクター
	大橋　弘	東京大学大学院経済学研究科教授
	川島　邦之	一般社団法人LBMA Japan代表理事
	河端　瑞貴	慶應義塾大学経済学部教授
	清田　陽司	麗澤大学工学部教授／人工知能学会理事
	越塚　登	東京大学大学院情報学環教授
	坂下　哲也	一般財団法人日本情報経済社会推進協会常務理事
◎	柴崎　亮介	麗澤大学副学長／東京大学大学院情報学環・学際情報学府特任教授
	島崎　康信	株式会社パスコ研究開発センター未来創造グループグループ長
	髙瀬　啓司	ESRIジャパン株式会社ソリューション開発グループ課長
	布施　孝志	東京大学大学院工学系研究科教授

【オブザーバー】
公益財団法人 日本測量調査技術協会
一般社団法人 地理情報システム学会

【関係省庁】
内閣官房、内閣府、総務省、経済産業省、国土交通省

【事務局】
内閣官房地理空間情報活用推進室（G空間室）、国土地理院

主な検討事項

① ジオAIをめぐる最近の動向
② ジオAIの概念整理、目指す姿
③ ジオAIの推進・実現に向けた「論点・課題」の整理
④ 産官学による「取組の方向性」（協調領域、競争領域）
⑤ 推進にあたって配慮・考慮すべき事項

当面のスケジュール

令和8年2月：研究会設置
～以降、月1回程度開催～
令和8年5月頃：中間整理（予定）

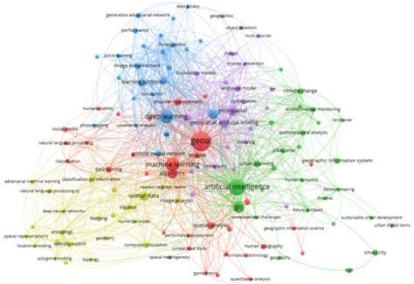
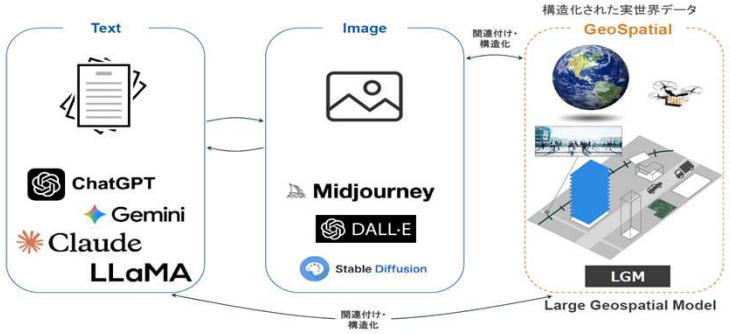


図1　GeoAIの学術領域ランドスケープ（VOSViewer使用、著作作成）

地理空間を含んだマルチモーダルAIの到来